

NO	大項目	分類	優先	新旧	小項目	背景課題・根拠・目的	役割	具体的展開案・実施上の課題等	予算規模	参照データ	目標案(2029年度)
1	健康経営の総合的推進(コラボ)	総合	S	継	①ホワイト500の継続認証	・健康経営推進通じ人的資本強化,健康福利と信頼の提供	副	①強化すべき事業と健保役割認識・対応 ②主管事業推進③データ提供④協議	0	FBシート分析と考察	・毎年の認証取得
					②コラボヘルスの推進	・コラボで施策の実効性拡大	共	①健康経営Tとの月2回の定例+個別MTG,②健康管理委員会/定例+個別	0	コラボと生産性資料	・ミーティングの実施
2	ICT活用による事業展開	ソフトウェア	S	継	PeUp利用の拡大	・効率的・効果的な事業展開・国もICTを推奨。	共	①登録率、利用率の拡大 ②魅力ある企画と運用 ③:①②で参加増・活性化	8,000	登録率利用率会社別	・登録率2026:85%
3	総合指標取組 (拠出金加算・減算対象)	総合	S	新	①保険者総合評価対象事業	・国推奨の事業に取り組み。拠出金の減額あり。	主共	・国は特定健診等を含め総合的健康対策を推奨し総合評点化。優良健保のシホールの2022年度全国健保上位10%・拠出金減額→2024年基準改定後も減額を維持 ・例示:若年層保健指導、ロコモティブシンドローム、かかりつけ医活用、終末期医療	-	2024年度加算減算基準資料	・拠出金減算組合を維持
					②新事業指針等施策	・上記に追加候補			-		
4	特定保健指導	保健指導	SS	拡	①特定保健指導 (メタボ改善・3ヶ月プログラム)	・未病段階からのリスク者生活習慣病予防・健保義務国策	主共	・国基準に成果ポイントが加わり-2kg/-2cmや生活習慣改善等の結果も重視。 ・リピーターや拒否岩盤層対策が積み上げ鍵。義務性+自己効力感を得る指導へ。	4,000	特健等実施状況	・実施率80%以上
5	重症化予防 主として産業保健のサポート	保健指導	S	新	①前期高齢者保健指導	・拠出金巨額化対策	主	・制度改正により当健保の負担増となる前期高齢者の医療費抑制に向けた指導	800	前期高齢者	・1人当給付が平均以下
			A	拡	②二次健診受診勧奨と管理 モニタリング・フォロー	・健診事後対応 通院確認・フォロー	副	・レセプト点検により受診履歴チェックを継続、拡大。家族は健保が実施する。 ↓産業保健を行う事業主と相談	0	健康マップ POG基準	・会社と協議中
			A	再	③ハイリスク者重症化防止	・医療費と業務へのインパクト	副	・糖尿病性腎症の予備群への受診勧奨、イベント経験者の指導等専門業者委託	600	ハイリスク者	・対象者の4~7割改善
6	女性のヘルスケア 婦人科オンライン診療・性差医療	治療教育	S	継	①ルナルナ月経随伴症状改善PG	・女性被保険者が7割・仕事・生活上影響する女性特有の不調を改善	副	①ルナルナ・オフィスオンラインプログラム(月経前症候群等改善)への費用補助。	9,500	ルナルナ内外統計資料	・対象者の7割以上改善
			S	継	②ルナルナ更年期症状改善PG		副	②同上(更年期症状改善)への費用補助。会社として男性更年期対策も着手。			
7	フロンティア・シニア・少子化対策	教育啓発	S	新	①妊活相談事業 ②プレコン啓発事業	・国策的重要課題・より良い妊娠出産育児サポート	副	①事業主の企画する妊活プログラムへの費用補助。 ②事業主と出産等に影響を及ぼす痩せに関する、意識・実態調査と、啓発着手。	500	出産者属性健診データ	調整中
8	たばこ対策	疾病予防	S	継	①卒煙助成と喫煙率低減	・疾病・死亡と最も相関性高い生活習慣。企業イメージ的にも必須。	共副	①事業所別、男女別、年齢別の喫煙率把握と経年・他社比較、事業者情報提供 ②現卒煙補助金支給継続(禁煙外来、遠隔禁煙プログラム等) ③HD健康経営チーム、事業所とコラボで、現行施策改善推進+異次元の新施策実施	1,400	事業所別男女別喫煙率と推移	・喫煙率2026年度13%→11%未満(健康日本21:12%)
9	メンタル対策	教育啓発	A	継	①メンタル疾患対策	・喫緊で最大の課題	副	①メンタル疾患統計(医療費、傷病手当金、人数、事業所別)等の事業主への情報提供と考察	-	メンタル医療費傷手	・年2回以上の提供と事業主施策への貢献
10	歯科保健事業	疾病予防	S	新	①歯科保健事業	・歯科医療費は医療費の18%と高い。官邸主導で国民皆歯科検診を目指す。	主	①歯科検診 ②歯科保健指導・セミナー ③歯科受診勧奨	700	・歯科未受診者等レセデータ	・要受診者の75%が受診。
11	生活習慣改善イベント (全員参加型運動系)	体育奨励啓発	S	継	①PepUpウォークラリー	・心と体の健康に効果があり手軽に始められる。象徴的イベントを継続	共副	①HD健康経営チーム主導でコラボにより展開している春と秋のウォークイベント継続。 ②魅力付けの工夫を行い参加者を増やし、終了後継続者にPepポイント付与で定着促進	2,200	ウォーキングラリー実績各種統計	・参加者1000人仮 ・事後継続30%
12	適正服薬対策	教育啓発	S	継	①後発医薬品普及促進	・医療費抑制の国策	主	・差額通知①当健保は2022年で78%。80%以上を目指し、普及に向け切替情報発信。 ・多剤服用者に、有害事象や飲み間違い、重複による無駄を通知し注意喚起。 ・医師処方と同じ効能の安価な市販薬情報を提供し推奨。オンライン購入も可能に。	0	後発品利用統計 代替可能薬試算	・数量普及率80%超 ・切替効果50万円~
					②ポリファーマシー	・適正服薬			200		
					③セルフメディケーション	・医療費抑制			900		
13	教育啓発・習慣化	教育啓発	A	継	①健康関連資格取得支援	・学習によるリテラシー取得 ・挑戦意欲は高い	主	・女性の健康についてのヘルスリテラシー向上のため、「女性の健康検定」「ピンクリボンアドバイザー」試験の学習と受験を支援。補助を継続する。取得後の活用も検討。	300	応募・受験状況	・受験者30名、合格者27名以上
			A	新	②生活習慣改善・習慣化とヘルスリテラシー向上	・健康管理の自律化 ・変えられるものは意識と習慣	共副	・健康セミナー、e-ラーニング、健康トピ表表彰・マスター認証、個人目標化、何でも改善CA等。施策は今後検討。検査項目や問診の改善ヘルスリテラシーの変化の測定等課題。	-	問診回答データ	・集団のヘルスリテラシー指標(仮)・状態の改善
			A	継	③身近な健康アプリで習慣化	・より手軽な方法の試行	主	・スマホ健康アプリ「aruku&」活用等による、楽しみながら自然にウォーキングを習慣化。	40	手段別利用統計	・同業対抗戦優勝
14	健康情報の各所提供推進と環境づくり	教育啓発	A	新	健康情報の提供・共有、意識づけと活用の環境づくり	・国の健保事業指針等 新規追加の推奨項目	主共	①特定健診結果のマイナポータル閲覧推進 ②健康スコアリングレポートの経営層共有 ③退職予定者への健康管理情報の提供 ④マイナ保険証の普及啓発・利用促進	200	マイナカード証登録表	・マイナカード証登録・証利用100%
15	特定健康診査	健康診断	A	継	①特定健康診査 (メタボ健診・生活習慣病早期予防)	・国策義務・メタボ健診 ・医療費抑制・QOL向上	主共	①40歳以上、通年在籍者。家族・任継含む。会社主体の定期健診と同時実施。 ②受診率向上には、事業所協力もいただき家族受診率(同74%)のUP必要。	30,000	特健等実施状況	・受診率:97.5% (2026:業界首位目標)
16	婦人科(がん)検診	健康診断	A	継	乳がん検査、子宮がん検査、女性特有疾病検査	・女性被保険者75% ・健診で早期発見可能	共	①定期健診と同時受診。高水準の受診率をさらに高め、長期的に業界トップ水準を目指す。 ②事業主コラボ、がん共生プログラムとのコラボ ③子宮 HPV自己検査の試行/家族	35,000	婦人科検診受診率	・受診率(従業員) 乳房91%子宮85%
17	がん検診・各種検診	健康診断	A	継	①がん検診、②生活習慣病検診 ③脳・肺検査	・2人に1人は罹患 ・検査で安心を提供	共	①がん検診、各種健診の意義周知と受診促進。②有用な検査の調査検討。③がん共生Tコラボ ④婦人科を含め精検対象者への受診勧奨(家族含む) ⑤がんを遠ざける生活習慣普及。	50,000	がん検診受診率推移	・受診率 全国健保の上位10%
18	感染症予防	疾病予防	A	拡	①インフルエンザ予防接種補助 ②コロナワクチン接種補助 ③その他の感染症対策	・感染症は予防対策が打てる事業 ・公平性のある事業	主	①インフルエンザに加えコロナワクチン接種にも補助を想定。秋季。 ②コロナと合わせ接種補助全体では増額。インフルエンザ単体では補助金減額も。 ③国や自治体が職域で推奨する予防接種は扱い検討。風疹、肝炎等。	5,000	FLU接種明細・感染症医療費	・インフルorコロナ接種率40%
19	その他の継続施策等	その他	AB	継	その他の事業		主	①医療費通知 ②スポーツ施設契約 ③子宮頸がんワクチン接種補助(停止中) ④健康・衛生対策用品の配布/事業所健康者表彰補助含む⑤啓発広報⑥その他	0-個別	小川ロケット資料	